

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和4年9月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:97)
2. 調査実施時期 令和4年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:87社 / 回答率:89.7%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
R3.12	<b>-53</b>	<i>-51</i>	<i>-56</i>	-	-	-
R4.3	-	<b>-45</b>	<i>-54</i>	<i>-56</i>	-	-
R4.6	-	-	<b>-15</b>	<i>-33</i>	<i>-50</i>	-
R4.9	-	-	-	<b>-8</b>	<i>-12</i>	<i>-24</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
当年	135,152	159,675	175,573	-	-	-
(前年)	148,160	144,450	134,141	147,619	135,152	159,675
対前年比	91%	111%	131%	-	-	-

(概況)

原木在庫は引き続き前年を上回る状況。合板需要低下による安定入荷を見込む声がある一方、冬にかけ在庫は減少する見通し。

(回答企業の主なコメント)

冬にどの程度入るか見通せず/天候不順で運搬が滞り例年より少ない/価格高騰し続け、確保に苦慮/注文した分は入荷/山土場にはあるがトラック不足で搬出できず/合板工場の集荷減退により安定入荷の目途

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
R3.12	<b>64</b>	<i>44</i>	<i>15</i>	-	-	-
R4.3	-	<b>35</b>	<i>26</i>	<i>5</i>	-	-
R4.6	-	-	<b>21</b>	<i>14</i>	<i>-10</i>	-
R4.9	-	-	-	<b>-10</b>	<i>-35</i>	<i>-42</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
当年	249,282	209,572	239,256	-	-	-
(前年)	192,692	187,454	217,936	231,240	249,282	209,572
対前年比	129%	112%	110%	-	-	-

(概況)

原木消費量は引き続き前年を上回る状況。一方輸入製材の入荷や住宅着工減少の影響で、今後の引き合いは減少する見通し。

(回答企業の主なコメント)

輸入製材の影響で荷動き悪い/九月以降製材出荷量が減少/道産材の動き悪化を懸念/国産材の手当てを急ぐ必要が減少/今の価格で取引できているが見通しは悪い/地元建築が動かず荷動き悪い

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
R3.12	<b>-65</b>	<i>-67</i>	<i>-73</i>	-	-	-
R4.3	-	<b>-70</b>	<i>-76</i>	<i>-72</i>	-	-
R4.6	-	-	<b>-52</b>	<i>-65</i>	<i>-71</i>	-
R4.9	-	-	-	<b>-52</b>	<i>-54</i>	<i>-56</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
当年	132,958	148,710	155,564	-	-	-
(前年)	229,770	242,886	206,179	175,588	132,958	148,710
対前年比	58%	61%	75%	-	-	-

(概況)

原木在庫は若干回復しているが、引き続き前年を下回る状況。依然として合板向けや運材車不足のため入荷は厳しい見通し。

(回答企業の主なコメント)

天候不順で運搬が滞り例年より少ない/価格高騰し続け、確保に苦慮/入荷見通し不安/山土場にはあるがトラック不足で搬出できず/合板向けが優先され、当面確保は厳しいと予想/冬山造材が始まるまでは厳しい

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
R3.12	<b>66</b>	<i>48</i>	<i>26</i>	-	-	-
R4.3	-	<b>42</b>	<i>34</i>	<i>12</i>	-	-
R4.6	-	-	<b>44</b>	<i>29</i>	<i>0</i>	-
R4.9	-	-	-	<b>21</b>	<i>2</i>	<i>-17</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2021.10-12	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3
当年	227,047	212,331	220,003	-	-	-
(前年)	224,155	222,949	247,874	253,036	227,047	212,331
対前年比	101%	95%	89%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を下回る状況。住宅向けラミナの出荷量が下がるなど、冬場にかけ荷動きは鈍化する見通し。

(回答企業の主なコメント)

輸入製材入荷で荷動き悪い/原木コストに合わせ値上げせざるを得ない/非住宅向け出荷量は昨年と同等/製品市況下落の声があるも実感はない/ラミナ出荷量は住宅減少で下がる見通し

# 道内の木材需給の見通し（令和4年9月調査分）

—令和4年10月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課  
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

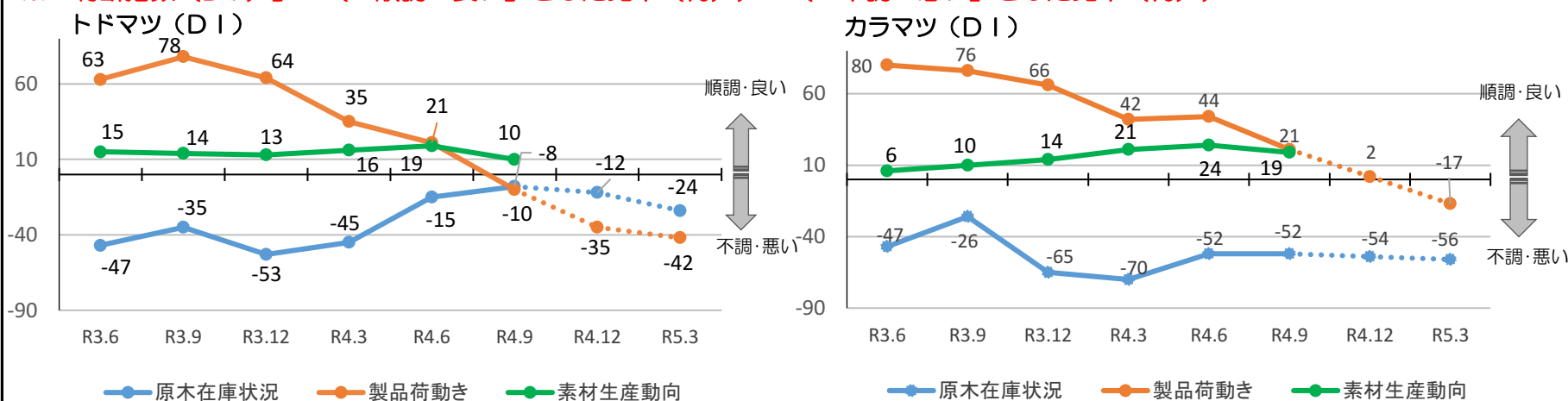
	《7~9月》	《10~3月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を上回っているが、10月以降は前年を下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を上回るが、10月以降は前年を下回る見通し。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を大きく下回っており、10月以降も前年を大きく下回る見通し。	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では前年を下回り、10月以降は前年並みの見通し。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《7~9月》	《10~3月見通し》		《凡例》
トドマツ			○素材生産動向は、「順調」28%、「並み」59%、「不調」13%となっており、順調の見通し。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○素材生産動向は、「順調」44%、「並み」45%、「不調」11%となっており、順調の見通し。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI  
○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数  
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

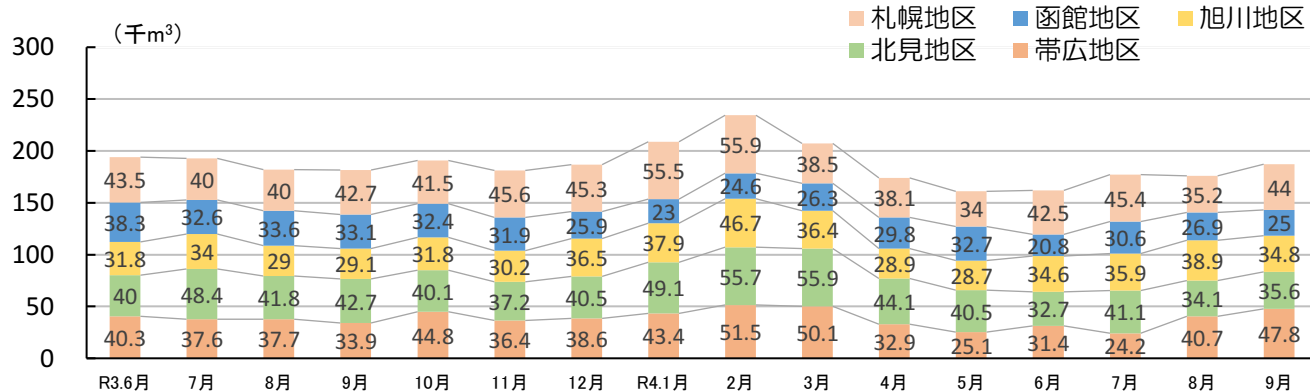


## 《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

### 素材生産量の推移

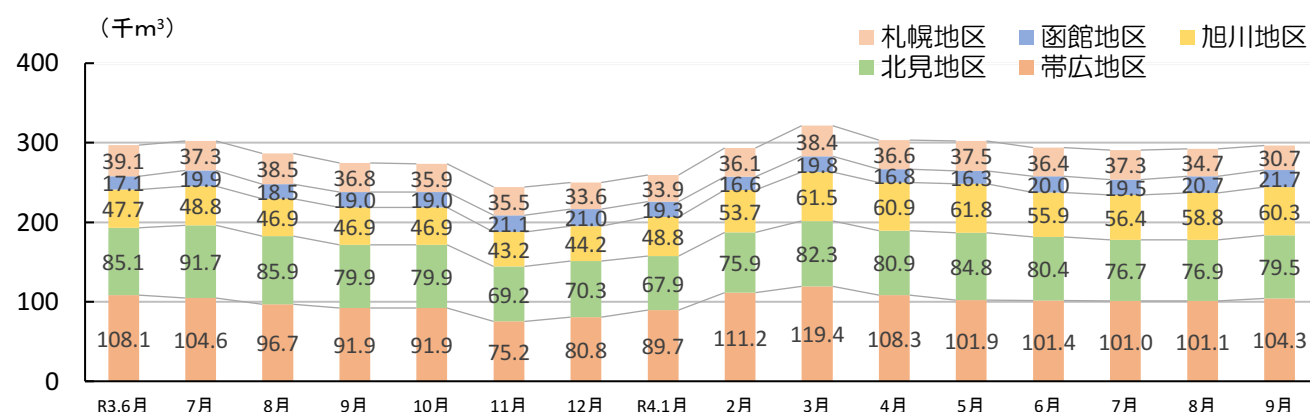
- 9月の素材生産量は前月比8.4千m<sup>3</sup>増の187.2千m<sup>3</sup>
- 10月は前月比4.2千m<sup>3</sup>増の191.4千m<sup>3</sup>の見通し  
札幌、旭川、北見地区で増える見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

### 製材工場の原木在庫量の推移

- 9月のトドマツ原木在庫量は前年同月を上回り、原木消費量は前年同月と同等程度の見込み
- 9月のカラマツ原木在庫量は前年同月を下回り、原木消費量は前年同月を下回る見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR4.7~9月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

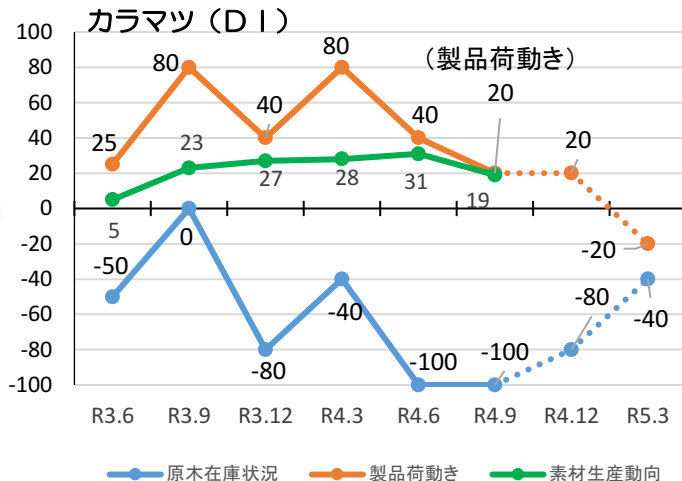
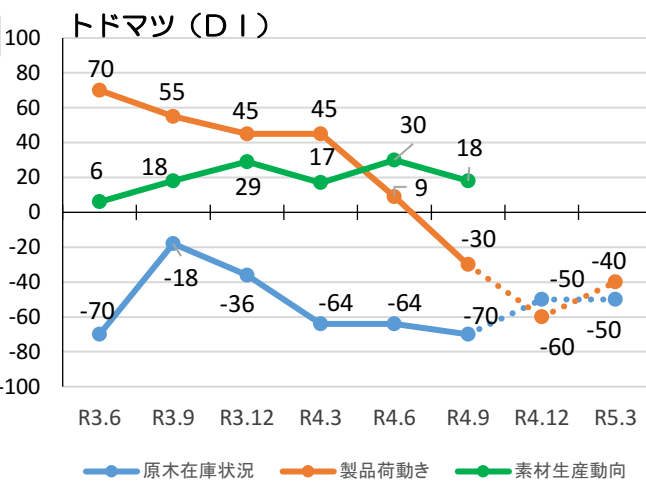
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を若干上回る見通し



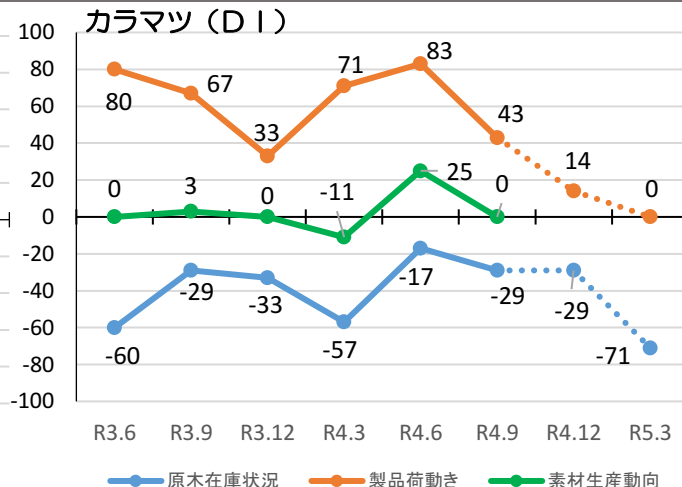
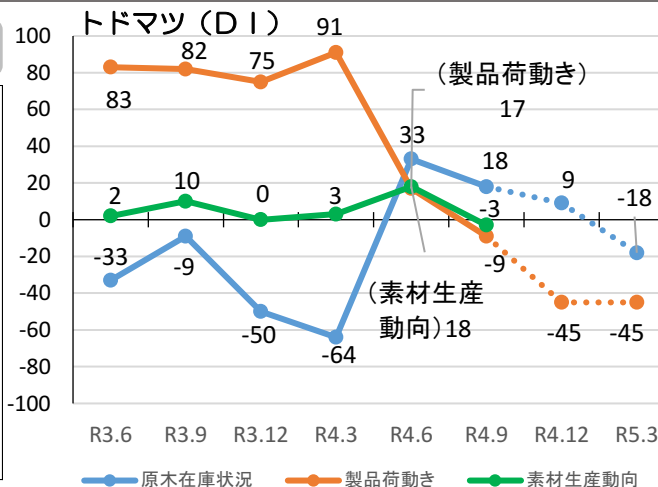
函館地区 (渡島・檜山・後志)

【トドマツ】

- ・素材生産は、前月並みの見通し
- ・原木在庫は前年並み、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、前月並みの見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回るも下降の見通し



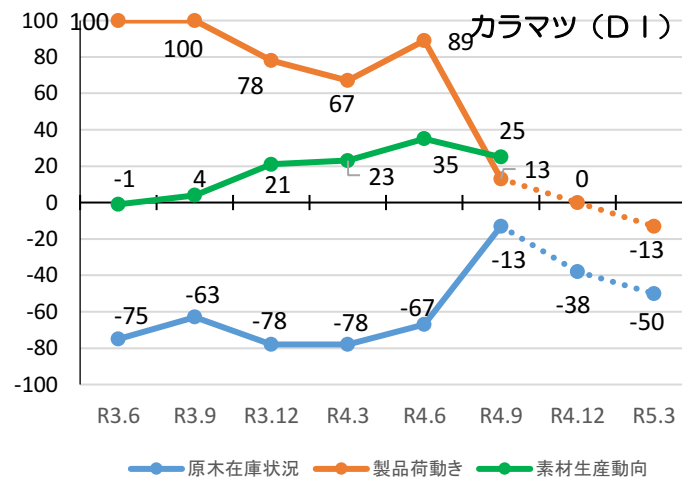
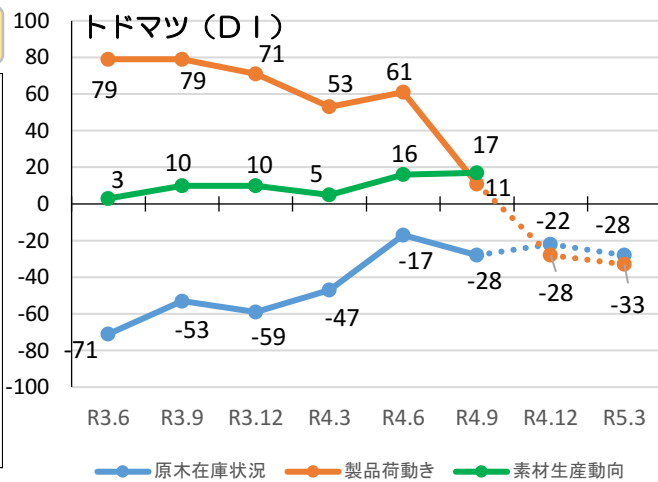
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し



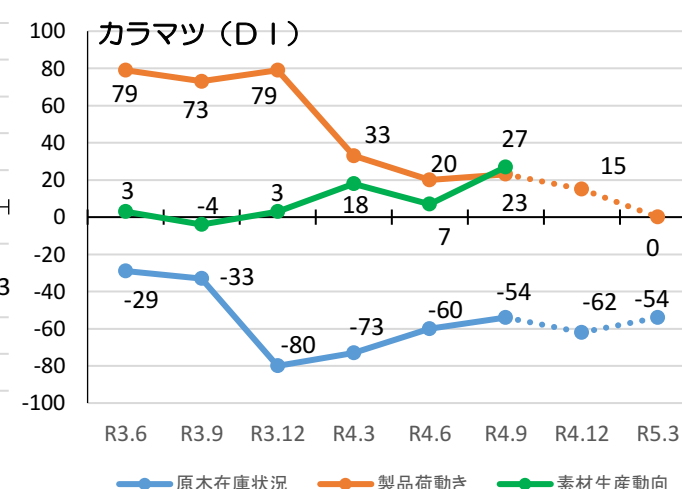
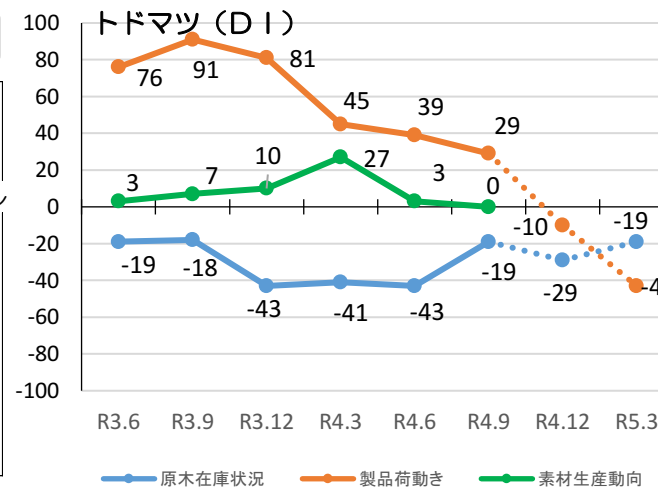
北見地区 (オホーツク)

【トドマツ】

- ・素材生産は、前月並みの見通し
- ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

【トドマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を若干上回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

【カラマツ】

- ・素材生産は、順調の見通し
- ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し

